

平成 19 年 1 月 11 日

報道関係各位

株式会社免疫生物研究所
Intellect Neurosciences, Inc.

モノクローナル抗体のアルツハイマー型認知症治療薬としての 開発に関する契約締結のお知らせ

株式会社免疫生物研究所(以下 IBL、群馬県高崎市)と Intellect Neurosciences, Inc. (以下 Intellect、米国ニューヨーク市)は、このたび、IBL が Intellect に対して、アルツハイマー型認知症の原因のひとつと考えられていますアミロイド に特異的に反応する抗体について、治療用医薬品としての製造、開発および販売の権利の譲渡に関する契約を締結いたしましたのでお知らせします。本契約によって、Intellect は IBL に対して、契約一時金、開発の進捗に応じたマイルストーン契約金および製品の売上げに対するロイヤルティーを支払います。

IBL 清藤勉社長のコメント 「Intellect によってアルツハイマー型認知症治療薬として、本抗体が商品化に向けて開発されることを嬉しく思います。そして、本抗体が医療に重要な役割を担うことに満足しており、価値のある抗体を国際社会に提供し続けることは我々にとっての喜びです。」

Intellect CEO Daniel Chain 氏のコメント 「IBL のアミロイド 特定モノクローナル抗体の特異性と結合性に非常に興味を持っています。本抗体は、通常の生理学的な過程において含まれる構造的に関連した他のタンパク質と交差しないため、患者への副作用が減ると考えております。また本抗体は作製が難しく、今回の権利取得によって我が社の製品開発スケジュールが大きく加速するでしょう。」

アルツハイマー型認知症とその治療薬について

アルツハイマー型認知症は、認知機能の障害を主症状とする脳の神経疾患です。アルツハイマー型認知症の原因は、アミロイド と呼ばれる不溶性蛋白の神経細胞表面への沈着と考えられております。全世界でアルツハイマー型認知症に苦しむ人は 1200 万人を超えるとされ、その数は高齢化が進むにつれ増加しており、社会的な問題として取り上げられています。現在市販されている医薬品は病気そのものを完治するものではなく、また、その売上げは、2008 年までには年間約 40 億ドルになると予想されており、治療薬の市場と需要の大きさを示唆しております。

株式会社免疫生物研究所について

1982年に、医薬品、医薬部外品および研究用試薬の研究、製造、販売を目的に設立されました。抗体を中心とする免疫学の研究成果を基に、研究用試薬の供給および医薬シーズのライセンス事業をおこなっております。従業員は、64名であります。詳細は <http://www.ibl-japan.co.jp> まで。

Intellect Neurosciences, Inc.について

Intellect Neurosciences, Inc.は、アルツハイマー型認知症や関連疾患の治療や予防のための薬剤を開発する企業です。最近ではOXIGON™という、アルツハイマー病やその他の病気を治療する可能性を持つ独特な抗酸化物質、抗アミロイド化合物のフェーズⅢ臨床試験を終了いたしました。詳細は <http://www.intellectns.com> まで。

お問い合わせ先
株式会社 免疫生物研究所 経営企画室（広報、IR担当）伊藤、杉山 〒370-0831 群馬県高崎市あら町5-1 Tel: 027-310-8040
Intellect Neurosciences, Inc. Elliot Maza Executive Vice President & Chief Financial Officer 7 West 18 th Street, 9 th Floor New York, NY 10011, USA Tel: +1-212- 448-9300